

2学期の総合訪問より

一人一人の子どもを大切にする教育活動を！

2学期は、小学校3校・中学校3校の総合訪問が予定されています。
今回は総合訪問3回目の報告として、2校の教育活動の様子についてご紹介します。

奥州市立姉体小学校

全てが関わり、一人一人が輝き
大きな希望の灯となる学校経営を目指して

●心の通い合う学校

校内すべての教室が教育相談室といえるような場所にするを理念に掲げることで、子ども同士・子どもと教師の心が通い合う学校を実現しています。また、お話し朝会と題して地域の方々から職業のことや生き方について話していただく機会を設け、地域愛を育て人間関係を深めています。
(大谷翔平選手の母校です)



●最も安全で快適な、環境の整った学校

学校は第一に安全、次に「環境は人を作る」という言葉のように、四季の変化を感じられる花壇、畑、校内掲示を意識し、美的感覚の醸成を図っています。また、第6回交通無事故1000日運動に取り組み、今年8月達成することができました。



●「論理的思考力」を鍛える学校

すべての教育活動に問題解決的な学習を取り入れ、学びの共同体を生かした論理的思考力の育成を図っています。6年間の道徳の研究を終え、今年度から算数科の研究を進めています。



平泉町立平泉中学校

●「郷土平泉」への誇りを醸成する

世界遺産の町の唯一の中学校として、「郷土・平泉学」に取り組んでいます。1年生で平泉の歴史を知り、2年生で平泉の今を見つめ、3年生で平泉を未来に広げるという系統的な学習を展開しています。



●充実の生徒会活動

まなびフェストに「学校、家庭、地区民、観光客に自然に挨拶ができる」ことを掲げています。生徒会でも挨拶運動に取り組み、地域からも好評を得ています。また、5教科学習コンクール、全校クリーン作戦、クラスマッチ1日開催など、生徒会の行事として意欲的に取り組んでいます。

●主体的に学び合う生徒の育成

学習の基本5項目を徹底し、言語活動の充実を通して子どもたちに力を付けています。語彙力・表現力・思考力・判断力を付けることを日常的な指導として共通理解し、実践する場を大切にする事で検証にもつながっていきながら研究にあたっています。



学習の基本5項目

1. 道具を準備し、チャイムの前に席につく。
2. 始まりと終わりの挨拶を元気よくする。
3. 「はい」と返事をし、大きな声で発表する。
4. 先生の話や友達の発表を集中して聴く。
5. ノートやプリントを丁寧に書く。

「授業改善」の視点で意識してほしいこと！

◀坂川孝志所長の挨拶より▶

- ・各種調査結果の変容を見取る
子どもの実態が見えてくれば、その子どもにあった指導ができる
- ・正答率と授業改善の視点の相関を見る
見通しと振り返り、明確な学習課題と学習過程、説明する場の設定
- ・学級集団で学ぶ強みを生かして、思考の質を高める

